

地 区	伊保木
第2層協議体	伊保木ぐるみ協議会福祉部
構 成	福祉部員8名 第1層生活支援コーディネーター 地域包括支援センター担当職員
今年度の活動	
地域課題	高齢者の生活支援をする担い手の参加が少ない
目 標	一人でも多くの担い手が、取り組みやすく気軽に参加しやすい活動を目指す
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする人のニーズをみんなで共有する ・担い手の出来ることを整理する ・担い手同士が交流できる場を作る など
成 果	支援を頼みやすく、支援を受けやすい環境を作るために「ちょこっとお助け隊」の取組みをベースに、要支援者とサポーターを結びつけ日頃から顔の見える関係を具体化させた。今後は、日頃からの声かけの中で見えてくる困りごとに対し、解決に向け必要な支援をしていく予定。

【サポーターが特技を活かし、出来る範囲で無理のない活動】



依頼者とサポーターによる
草刈り作業

モットーは
出来ることは自分で！
出来ないところを助け
合いで！



移動販売車を待つ待合用のイス



移動販売車での買い物の付添い

移動販売車が止まる場所に待合用の
イスが設置されました。

イスは、「ちょこっとお助け隊」が活
動した、ボランティアポイントの交付
金で購入しました。

